

講義名	経営学入門(商学部：1年生のみ)			授業形態	
担当教員	平井 直樹	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
			ナンバリング・コード	MAN120	

#### 主題と概要

本講義は、経営学に関する基本理解を目的とします。組織論、戦略論、企業論、マーケティングなどの経営学に関わる様々な領域について、教科書を中心に基本的な解説を行います。経営学の基礎的な知識を学ぶことで、それぞれの分野の専門的な学びへの土台を構築していきます。

#### 到達目標

- (1) 経営学の基礎的知識を身につけることができるようになる。
- (2) 企業経営に関するさまざまな現象を、学んだ知識を使って説明できるようになる。
- (3) 経営学のさまざまな領域のなから、より深く学びたい分野を見つけられるようになる。

#### 提出課題

- (1) 授業回ごとの小テストやリアクションペーパーの提出を求めます。
- (2) 複数回の授業を総括したレポートの提出を求めます。

#### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業にて、全体にフィードバックを行います。

#### 評価の基準

- (1) 小テストやリアクションペーパー（60%）、および期末レポート（40%）を元に総合的に評価します。
- (2) 期末レポートが未提出の場合は、自動的に「放棄」として扱います。
- (3) 6回以上の欠席は、自動的に「放棄」として扱います。ただし、これは「5回まで欠席してもよい」という意味ではありません（欠席が多いほど当然ながら評価は厳しくなります）。
- (4) 感染症等の欠席届の対象となる事由の場合は、所定の手続きを行うことで配慮します。

#### 履修にあたっての注意・助言他

- (1) 授業を妨げるような行為、他の受講生の勉強の妨げや迷惑行為は厳禁です。
- (2) 公共交通機関の遅延などを除き、大幅な遅刻や欠席となる遅刻は、欠席として扱います。

教科書	.1からの経営学 第3版.	加藤野忠男・吉村典久	碩学舎	2640	9784502375217
-----	---------------	------------	-----	------	---------------

#### 参考図書

.経験から学ぶ経営学入門 第2版.	上林憲雄・奥林康司・藤泰雄・間本浩矢・森田雅志・竹森昭	有斐閣	2640	9784641184435
.世界標準の経営理論.	入山薫栄	ダイヤモンド社	2900	9784478109571

#### その他

- (1) 講義資料は、授業回ごとにキャンパスクロスにアップロードしますので、各自で確認してください。教室内での資料配布は行いません。スマートフォンでの閲覧は推奨しません。
- (2) 記載以外の参考図書は、各授業回において適宜案内します。

#### 授業計画

01. 企業経営の全体像
02. 経営学の全体像
03. 企業と会社
04. 企業とインフラ（金融資本・労働）市場との関わり
05. 企業とアウトプット（製品・サービス）市場との関わり
06. 競争戦略のマネジメント（Part 1）：基本的な考え方
07. 競争戦略のマネジメント（Part 2）：違いを作る3つの基本戦略と仕組みの競争
08. 多角化戦略のマネジメント
09. 国際化のマネジメント
10. マクロ組織のマネジメント
11. ミクロ組織のマネジメント
12. キャリアデザイン
13. 経営学の広がり（Part 1）：ファミリービジネスのマネジメント
14. 経営学の広がり（Part 2）：病院組織のマネジメント
15. 講義全体の振り返り・まとめ

#### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

#### 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- <予習>  
教科書を通読し、授業の主なキーワード、トピックを確認しておく（30分程度）
- <復習>  
講義資料を元に、リアクションペーパーを作成する。何を学んだかについてまとめるとともに、それに対する自身の意見を記述する（60分程度）  
合わせて90分程度。

#### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目では、企業経営に関する現象や事実から問題点やその要因を見つけ出し、解決すべき課題を設定する「課題発見力」の伸張につながる基礎知識を習得することができる。

#### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

小テスト課題やレポート課題等は、オンラインツールを活用して実施します。

#### 実務経験の有無及び活用

約15年間ソフトウェアエンジニアとして実務経験があり、また、国内ビジネススクールでの教鞭の経験もあります。最新のビジネス事情も踏まえた理論、事例等を提示します。

#### 備考